セゾンマルチシリーズ　据付説明書・電気配線工事説明書

FDFLJ(P)　28HKXD1～71HKXD1

PSB012D513

本説明書は、室内ユニットの据付方法を記載してあります。
リモコン及び電気工事の方法は、**電気配線工事説明書**（室内ユニット付属）をご覧ください。
総合工事仕様と室外ユニットの据付方法は、室外ユニット付属の説明書をご覧ください。

〈おねがい事項〉

○取扱説明書を見ながら、お客様に実際に操作していただき、正しい運転のしかた（特にエアフィルタの清掃、運転操作のしかた、温度調節の方法）をご指導ください。
○長時間使用しない時は、電源スイッチを切るようにお客様にご指導ください。電源スイッチを入れたままにしておきますと、クランクケースヒータに通電されエアコンを使用しなくても電力を消費することになります。

適用機種	マルチシリーズ	小母形	28, 45, 56H
		大母形	71H

工事完了後、これだけは再チェック願います。

チェック項目	不良だと	チェック欄
室内ユニットの取付けはしっかりしていますか。	振動、騒音	
パネルの取付けはしっかりしていますか。	振動、騒音	
吹出口、吸込口に障害物はありませんか。	冷えない	
ショートサーキットしませんか。	冷えない	
冷媒漏れはありませんか。	冷えない	
ドレン水はスムーズに流れますか。	水漏れ	
断熱は冷媒配管・ドレン配管共に確実にされていますか。	水漏れ	
誤配管はありませんか。	運転不能	

1. 据付のまえに

○据付はこの据付説明書に従って正しく行なってください。
○工事計画にあっておりますか。

機種・電源仕様
確認してください
配管・配線・小物部品

付属品

配管関係

1	パイプカバー		2個	ガス管用
2	パイプカバー		1個	液管現地側用(長さ150mm)
3	パイプカバー		1個	液管本体側用(長さ70mm)
4	バンド		8個	パイプカバー用
5	接手管		1個	ガス配管接続用

ドレン関係

1	ドレンホース		1個	バンド付

据付関係

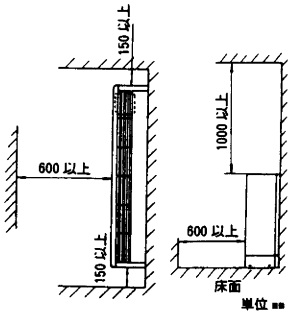
1	床面固定金具		2個	
2	タッピンネジ		2個	リモコン取付け用(M4×ℓ12)

お知らせリモコンは別売品でユニットには付属されません。

2. 据付場所の選定

本室内機は、床面固定と壁面固定の2通りの固定が可能です。
据付場所より選択してください。

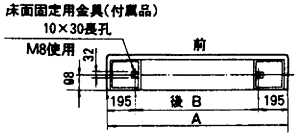
●室内機据付スペース



○冷風または温風が十分行きわたる所。
○室外への配管配管配線のしやすい所。
○ドレン排水が完全にできる所。
○吸込口、吹出口に風の障害物のない所。
○火災報知器の誤動作しない所。
○ショートサーキットしない所。
○油の飛沫や蒸気の多い所はさけてください。（例：調理場、機械工場）熱交換器の性能低下、腐食、プラスチック部品の破損の原因となります。
○高周波を発生する機械がある所はさけてください。ノイズ発生によるコントローラの誤動作の原因となります。
○腐食性ガス（亜硫酸ガスなど）、可燃性ガス（シンナー、ガソリンなど）の発生、滞留の可能性のある場所はさけてください。熱交換器の腐食、プラスチック部品の破損の原因となります。
○エアコン本体とリモコンはテレビやラジオなどから1m以上離してください。
○本エアコンはＪＩＳ露付条件で試験を行い不具合のないことを確認しておりますが、高温度雰囲気（露点温度23℃以上）で運転すると水滴がたれるおそれがあります。このような場所への設置はしないでください。
○冷媒ガスが漏れたとき、周囲の空気が限度濃度を越える恐れのある場合は、窒息防止のため隣室との間の開口部やガス漏れ検知警報と連動する機械換気装置などの取付けが必要となりますのでご注意ください。

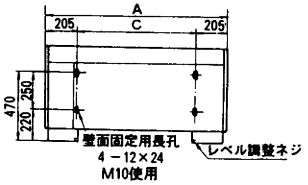
●床面固定金具用ボルトおよび壁面固定用ボルトの位置

床面固定金具用ボルト位置



床側よりみた図です。

壁面固定用ボルト位置



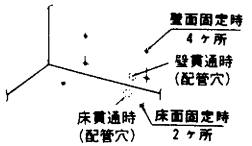
項目 / 機種	A	B	C
28, 45, 56H	1,196	806	786
71H	1,481	1,091	1,071

単位：mm

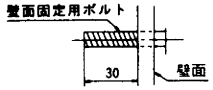
3. 室内機の据付

搬入時はできるだけ据付場所の近くまで梱包のままで搬入してください。

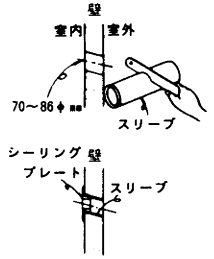
床面固定金具用ボルトまたは壁面固定用ボルト位置、配管穴位置を選定し、固定ボルトの設置と配管用の穴あけを行ってください。
位置決定は実測により行ってください。



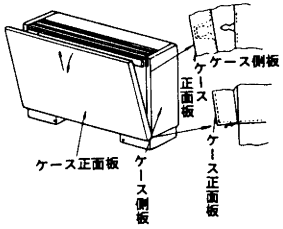
壁面固定用ボルトの長さは下記寸法を厳守ください。

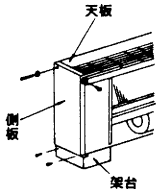


壁の穴孔け要領を下図に示します。



(1)フロントパネルとサイドパネルを取りはずしてください。



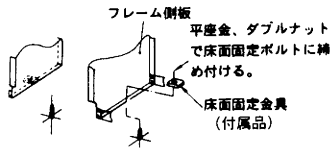


(2) レベル調整ネジにてガタをなくす。

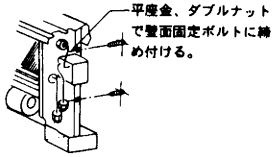
(3) 下図の要領にて固定してください。

サイドパネル、フロントパネルを取付け終了です。

床面固定の場合



壁面固定の場合

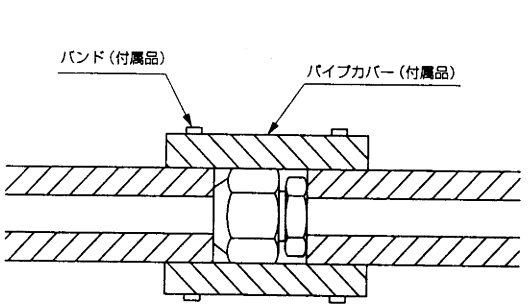


4. 冷媒配管

冷媒配管工事については、室外ユニット付属の説明書をご覧ください。

ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。

●室内機のフレア接続部は、ガス漏れチェック後、付属の継手用断熱材をかぶせ、両端を付属のバンドでしっかりと締め付けてください。



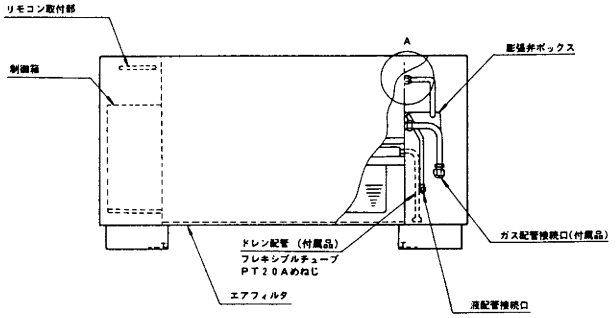
●配管位置

○熱交換器～膨張弁BOX間（図中Ａ部分）の液配管を必ず接続して御使用ください。

○室外ユニットの結線銘板に「系統名」と「冷媒封入量」を記載する欄がありますので、その系統名と封入量を記入しておいてください。

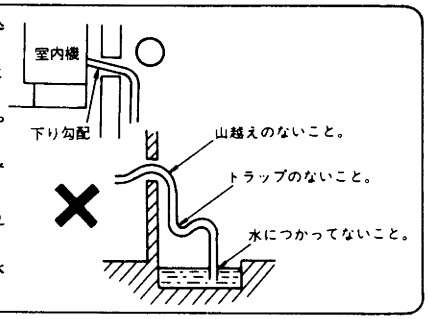
○配管は後面と床面の２方向に取り出すことが可能です。

○ガス配管の接続は付属の接手管を、必ず使用してください。
配管を取り出す方向に応じて接続してください。



5. ドレン配管

●ドレンホースは根元までしっかりと差し込んでください。
●ドレンホースはバンドを締めてしっかりと固定してください。
●ドレン配管は下り勾配とし、途中山越えやトラップを作らないようにしてください。
●室内にある硬質塩ビパイプは配管同様必ず保温してください。
●ドレン配管の出口は、臭気の発生する恐れのない場所に施工してください。
●ドレン配管はイオウ系ガスの発生する下水溝に直接入れないでください。



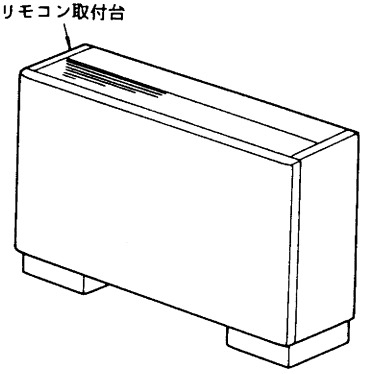
○配管後排水が良好に行なわれることと、接続部等からの水洩れのないことを確認ください。

6. 電気工事及び試運転

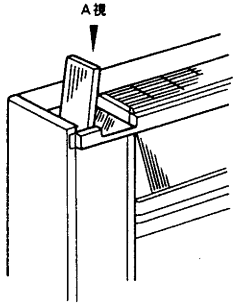
同封の電気配線工事説明書を御覧ください。

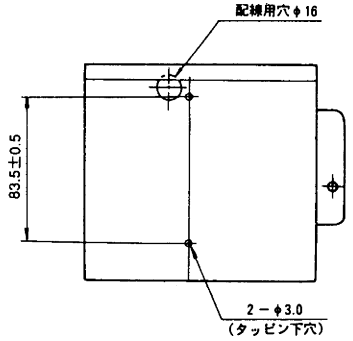
7. リモコン取付要領

●外　観



(1) フロントパネルを取りはずしてください。

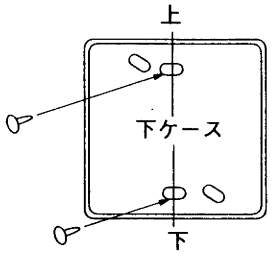




A視

(2) リモコン取付

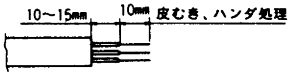
●下ケースを付属品のタッピンネジ(M4×ℓ12)で取付けます。



(3) リモコンコード取付

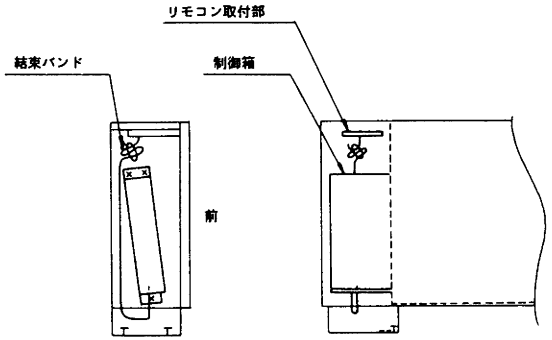
リモコンコード取付

- リモコンと制御箱の端子間〔Ⓧ(アカ)、Ⓨ(シロ)、②(クロ)〕を付属のコードで接続してください。
- コード長さは30cmくらい余分に長くしてください。(前面パネルを外してサービスする場合に必要です。)
- コード切断時は下図のように皮むき処理とハンダ固めを実施してください。
  (ハンダ処理をしないと、配線のゆるみの原因になります。)



(4) 配線系路

- 配線は配線用穴より、制御箱の裏を通し端子台に接続してください。
- 余った配線は結束バンドでまとめてください。



<チェック>

- 配線がエッジに当たらないことを確認してください。
- 試運転を行ない不具合のないことを確認してください。

電気配線工事説明書

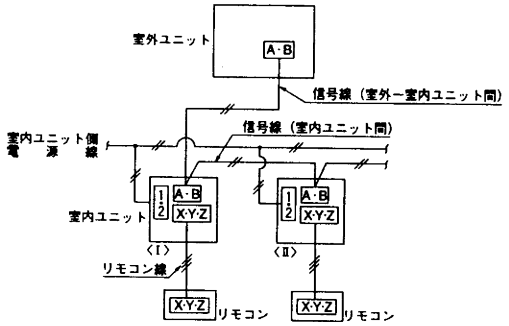
安全上の注意事項については、ユニット付属の据付説明書に記載してありますので、必ずご参照いただきますようお願いします。

電気配線工事は電力会社の認定工事店で行ってください。

① 電気配線接続

配線系統図

〔室外・室内ユニット接続要領〕



記事1．本配線仕様は、
1）電源は、室外ユニット・室内ユニットの夫々別電源
2）電気ヒータ（別売品）含まず
にて記載してあります。
注）別売の電気ヒータを組込む場合は、電源仕様、配線仕様および配線本数が異なりますので、ご注意ください。

2．電源仕様

	室内ユニット用		
配線用しゃ断器定格電流（A）	室内ユニット合計電流（A）	10A未満	20
		10A以上15A未満	30
		15A以上22A未満	40
		22A以上27A未満	50
漏電しゃ断器定格電流（A）		10A未満	20,30mA.0.1sec以下
		10A以上15A未満	30,30mA.0.1sec以下
		15A以上22A未満	40,30mA.0.1sec以下
		22A以上27A未満	50,100mA.0.1sec以下

室内ユニット接続線は5.5mm²まで可能です。8mm²以上は専用プルボックスを使用し室内ユニットへ分岐してください。

3．配線仕様

電源配線		室内ユニット間電源配線	信号線	
室内側		系統間	室外~室内(1)	室内(1)~(2)~
		mm²×本数	mm²×本数	
室内ユニット合計電流（A）	10A未満	2×2本（こう長23m）	0.75 / 2.0 ×2本	0.75 / 2.0 ×2本
	10A以上15A未満	3.5×2本（こう長23m）		
	15A以上22A未満	5×2本（こう長23m）		
	22A以上27A未満	8×2本（こう長23m）		

注）内線規定に従い、配線こう長より配線太さを見直してください。

冷暖フリーマルチ（224H, 280H, 560H）の場合

分流コントローラの配線

●本ユニットを冷暖フリーマルチとして使用する場合は分流コントローラ（別売品）の据付説明書をご覧ください。

② アドレス設定

（1）自動アドレス設定
（2）手動アドレス設定
（3）リモコンアドレス設定
上記3項目については、室外ユニット付属の説明書をご覧ください。
なお、（3）リモコンアドレス設定については、設定可能な機種と不可能な機種がありますので室外ユニット付属の説明書をご覧ください。

③ リモコン取付と配線

リモコン　リモコンは別売です。

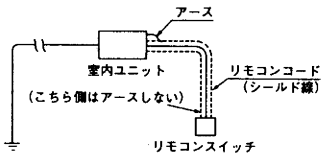
リモコンの据付

お願い 次の位置は避けてください。

1）直射日光の当る場所
2）発熱器具の近く
3）湿気の多い所・水の掛る所
4）取付面に凸凹がある所

リモコンコードを延長する場合の注意 ▶ 最大総延長600m

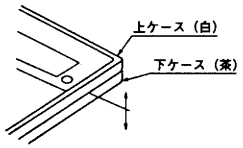
コードは必ずシールド線を使用してください。
●全形式：0.3mm²×3心（MVVS）
注（1）延長距離が100mを越える場合は下記のサイズに変更してください。
100～200m以内……0.5mm²×3心
300m以内……0.75mm²×3心
400m以内……1.25mm²×3心
600m以内……2.0mm²×3心
●シールド線は必ず片側のみをアースしてください。



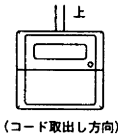
取付要領

露出取付

①リモコンケースをはずしてください。
●側面上方の上ケース（白）と下ケース（茶）に爪を掛け溝を広げはずします。



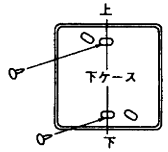
②リモコンコードの取出し方向は、下図のように上方向のみ可能です。



（コード取出し方向）

●リモコン下ケース側の上方薄肉部をニッパー・ナイフ等で切り取った後、ヤスリ等でバリを取ってください。

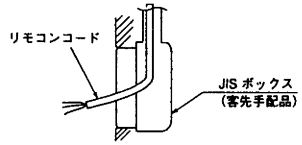
③リモコン下ケースを付属の木ネジ2本で壁に取付けます。



④リモコンコードを端子台に接続してください。室内ユニットとリモコンの端子番号を合わせて接続してください。端子台には極性があるので間違えると運転できません。
端子：Ⓧ赤線、Ⓨ白線、Ⓩ黒線
⑤室内機の機種に応じて機能の設定をしてください。
機能の設定 の項をご覧ください。
⑥上ケースを元通り、下ケースにはめ込みます。
⑦リモコンコードをコードクランプを使用して壁等に固定します。

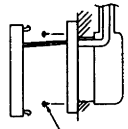
埋込取付

①JISボックスとリモコンコード（延長の場合はシールド線を必ず使用）をあらかじめ埋込んでおきます。

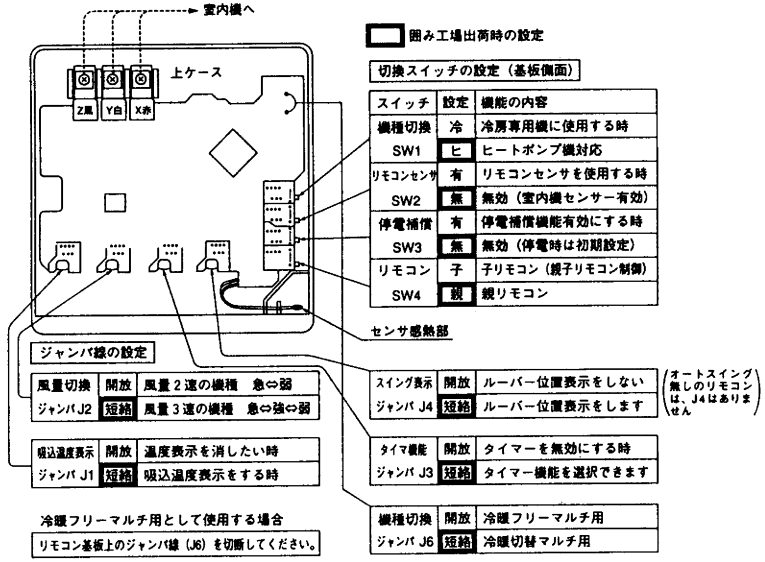


〔使用可能JISボックス〕
● JIS C 8336　1個用スイッチボックス（カバーなし）
2個用スイッチボックス（カバーなし）、

②リモコンの上ケースを外してください。
③下ケースをM4ねじ2本（頭φ8以下：客先手配品）でJISボックスに取付けてください。
④リモコンコードをリモコンに接続します。
注）露出取付け の項をご覧ください。
⑤室内機の機種に応じて機能スイッチの設定をしてください。
機能の設定 をご覧ください。
⑥上ケースを元通り下ケースにはめ込み取付完了です。



機能の設定



囲み工場出荷時の設定

切換スイッチの設定（基板側面）

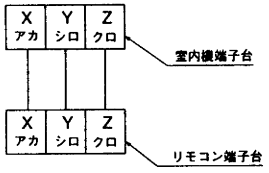
スイッチ	設定	機能の内容
機種切換	冷	冷房専用機に使用する時
SW1	ヒ	ヒートポンプ機対応
リモコンセンサ	有	リモコンセンサを使用する時
SW2	無	無効（室内機センサー有効）
停電補償	有	停電補償機能有効にする時
SW3	無	無効（停電時は初期設定）
リモコン	子	子リモコン（親子リモコン制御）
SW4	親	親リモコン

風量切換	開放	風量２速の機種　急⇔弱
ジャンパ J2	短絡	風量３速の機種　急⇔強⇔弱
吸込温度表示	開放	温度表示を消したい時
ジャンパ J1	短絡	吸込温度表示をする時
スイング表示	開放	ルーバー位置表示をしない
ジャンパ J4	短絡	ルーバー位置表示をします
タイマ機能	開放	タイマーを無効にする
ジャンパ J3	短絡	タイマー機能を選択できます
機種切換	開放	冷暖フリーマルチ用
ジャンパ J6	短絡	冷暖切替マルチ用

（オートスイング無しのリモコンは、J4はありません）

リモコンと室内の配線

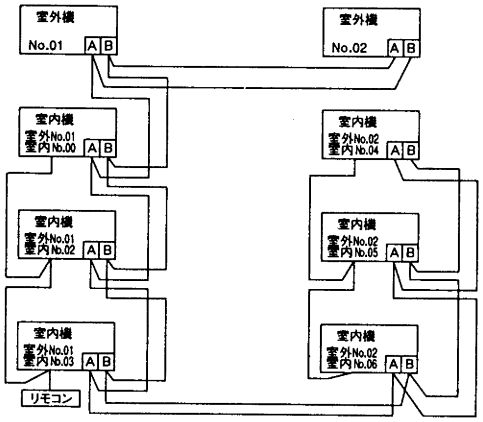
●リモコン配線は極性があります。必ず同一端子台No.同士接続してください。



リモコン複数台制御

配線要領

●グループ制御用に各室内機間に渡り配線をします。（3本）
■室内ユニットリモコン用端子台Ｘ Ｙ Ｚに、接続してください。なお極性がありますので、同じ端子No.の所へ接続してください。
■配線は0.5mm²以上を使用してください。（配線の引廻しに耐えるもの）
■渡り線、リモートコントローラ配線の総延長は600m以内としてください。
●室内・室外No.を手動アドレス設定にてセットしてください。
■室外機の室外No.設定も必要です。忘れずに設定してください。
●下図の様に室外機が複数台の場合でもリモコン複数台制御可能です。
●1つのリモートコントローラで複数台のユニット（最大16台）をグループ制御できます。

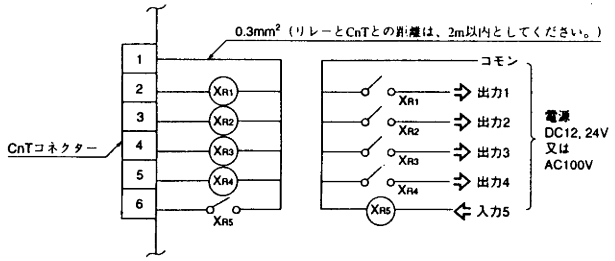


④ 制御の切換

室内機の制御内容を、下記方法にて切換可能です。

	制御切換方法	制御切換内容
室内機	室内基板〔SW-5〕のNo.1をON	遠方発停入力（CNT-No.6）切換 出荷時…レベル入力（反転できない） ↓ 切　換…パルス入力（反転）
	室内基板〔SW-5〕のNo.2をON	暖房時設定温度＋3℃
	室内基板〔SW-5〕のNo.3をON	ドレンモータ運転
	室内基板〔J-2〕切断	オートスイング4位置制御ナシ（フリー位置制御）
	室内基板SW-6のNo.1～4のON OFFを切換える。	機種 / 22H / 28H / 36H / 45H / 56H / 71H / 80H / 90H / 112H / 140H / 160H / 224H / 280H 1 / 0 / 1 / 0 / 1 / 0 / 1 / 0 / 0 / 1 / 0 / 1 / 0 / 1 2 / 0 / 0 / 1 / 1 / 0 / 0 / 1 / 1 / 1 / 0 / 0 / 1 / 1 3 / 0 / 0 / 0 / 0 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 0 / 0 / 0 / 0 4 / 0 / 0 / 0 / 0 / 0 / 0 / 0 / 0 / 0 / 1 / 1 / 1 / 1 0は:OFF，1は:ON
	室内基板〔J-3〕切断	暖房サーモOFF時に室内ファンが停止する。
	室内基板〔J-4〕切断	フィルタサイン無効（検知しない）
	室内基板〔J-5〕切断	運転許可禁止制御
	室内基板SW-9のNo.1,2のON・OFFを切り換える（4方向吹出し、4方向吹出しコンパクト）	オートリフトパネルの昇降長さの設定 50Hz地区：昇降長 / SW9-1 / SW9-2 1.3m：ON / OFF 1.6m：OFF / ON 2m：ON / ON 60Hz地区：SW9-1 / SW9-2 OFF / OFF ON / OFF OFF / ON
	室内基板〔J-1〕切断	ルーバ角度切換

⑤ 室内基板CnTコネクタの機能



●$X_{R1\sim4}$はDC12Vリレー（オムロン製LY2F相当品）
●X_{R5}は、DC12, 24V又はAC100Vリレー（オムロン製MY2F相当品）
●CnTコネクター（現地側）メーカー、形式

コネクター	モレックス	5264-06
端　　子	モレックス	5263T

●機　能

出力1	エアコン運転出力（エアコンON時X_{R1}＝ON）	
出力2	暖房出力	
出力3	サーモON出力（サーモON時X_{R3}＝ON）	
出力4	エアコン点検出力（エアコン点検時X_{R4}＝ON）	
出力5	出　荷　時	X_{R5}　OFF⇒ON　エアコンON
		X_{R5}　ON⇒OFF　エアコンOFF
	現地切換（SW5のNo.1をON）	X_{R5}　OFF⇒ONのパルス信号によりON/OFF反転

●冷暖フリーマルチとして使用する場合は分流コントローラ（別売品）の据付説明書をご覧ください。
●遠方発停・監視キットを別売品で準備しておりますのでご利用ください。

⑥ 試　運　転

試運転については、室外ユニット付属の説明書をご覧ください。

⑦ 故障診断方法

故障診断方法については、室外ユニット付属の説明書をご覧ください。

⑧ 工事完了後のチェック項目

- ☐ 電源電圧は本体表示と同じですか。
- ☐ 室外機側でアース工事はされていますか。
- ☐ 電源線の太さは指定の配線と同じですか。
- ☐ 電源線、信号線、リモコン線の接続位置は正しいですか。